



# 韓国防衛産業の現状と課題

一般財団法人キャングローバル戦略研究所  
研究員 伊藤 弘太郎

# 韓国の安全保障環境と国防政策

## ①北朝鮮の核ミサイル開発と米朝対立

- ・韓国軍だけでの対応力の限界露呈

## ②防衛装備品の南北格差

- ・経済力格差は38倍 軍事費は34:1
- ・韓国軍と北朝鮮軍の装備の非対称性
- ・政権交代で韓国軍単独優勢論が拡大？

## ③韓国軍の海外派遣

- ・OECD加盟国としての自尊心と国防外交

## ④海外輸出額を増やす防衛産業

- ・次なる飛躍への挑戦



編隊飛行をする米空軍B-1B・F-35Bと韓国空軍F-15K  
(2017年9月17日)



南スーダンPKO派遣部隊  
(2013年3月31日～現在)



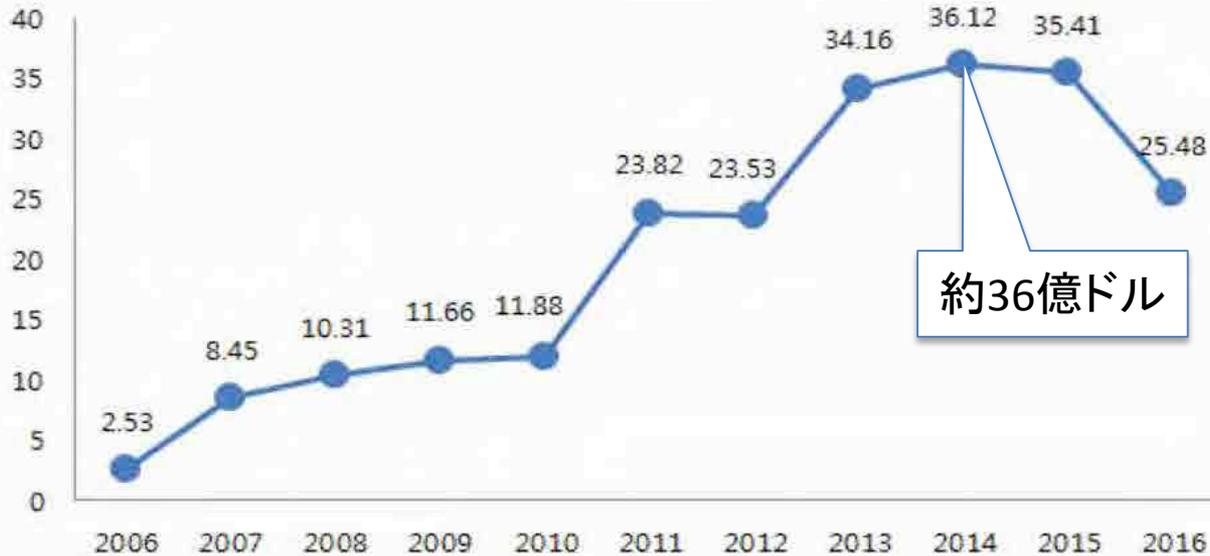
FA-50軽攻撃機生産ライン

(写真出典:PACOM・韓国合同参謀本部・東亜日報)

# 装備品輸出額 2006年～16年

[그림 5-2-1] 방산물자 수출 종합현황

億ドル



①輸出実績: 2.5億ドル(2006年)→**25億ドル以上**(2016年)

②輸出先: 47カ国(2006年)→**89カ国**(2016年)

③輸出企業: 47社(2006年)→**176社**(2016年)



潜水艦



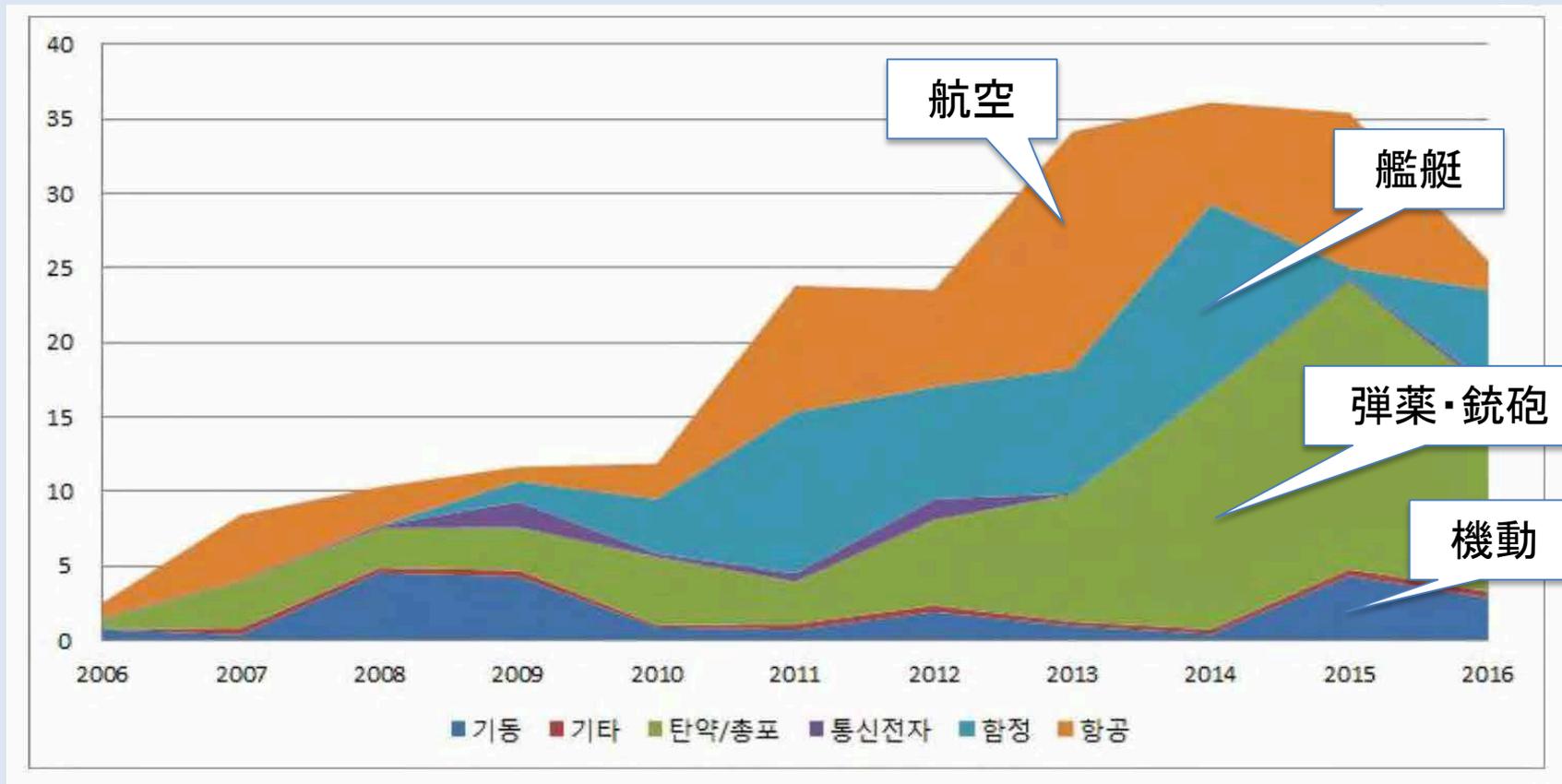
T-50練習機



K-9自走砲

写真出典: 中央日報・聯合ニュース

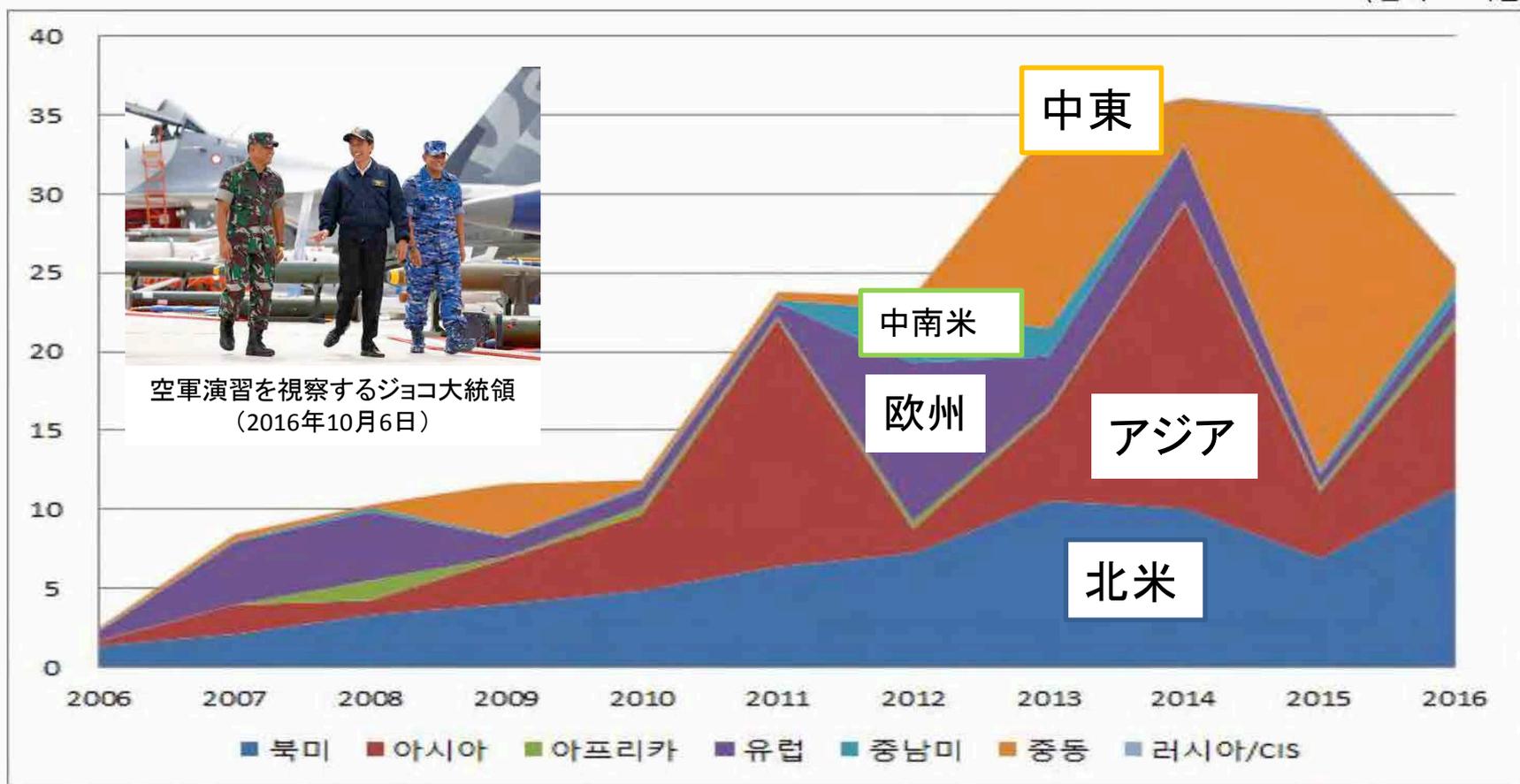
# 輸出品目の変化 2006年～16年



韓国防衛事業庁『2017年度防衛事業統計年報』、217頁

- ①近年は**航空・艦艇**など大型案件の契約が多い
- ②最先端の国防科学技術開発を活性化させ、産業全般への波及効果を狙う。

# 輸出先地域の変化 2006年～16年



韓国防衛事業庁『2017年度防衛事業統計年報』、217頁

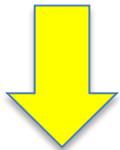
- ① **アジア・中東**地域の占める割合が急増→航空機などの契約
- ② 世界各地域に幅広く輸出(アフリカも含む)

# 躍進の背景 輸出支援制度確立

## 輸出推進のための過程(一般)

### ①準備

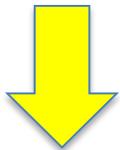
市場開拓団派遣、広報媒体(軍事雑誌等)を活用したマーケティング  
防衛産業展示会ブース参加  
海外情報源活用(大使館・在外武官・KOTRAなど)  
防衛産業・軍需共同委員会



(必要に応じて)防衛産業製品改造・開発

### ②入札・交渉

国際入札参加申請・承認→国際入札参加→優先交渉選定



防衛産業製品広報および性能試験支援

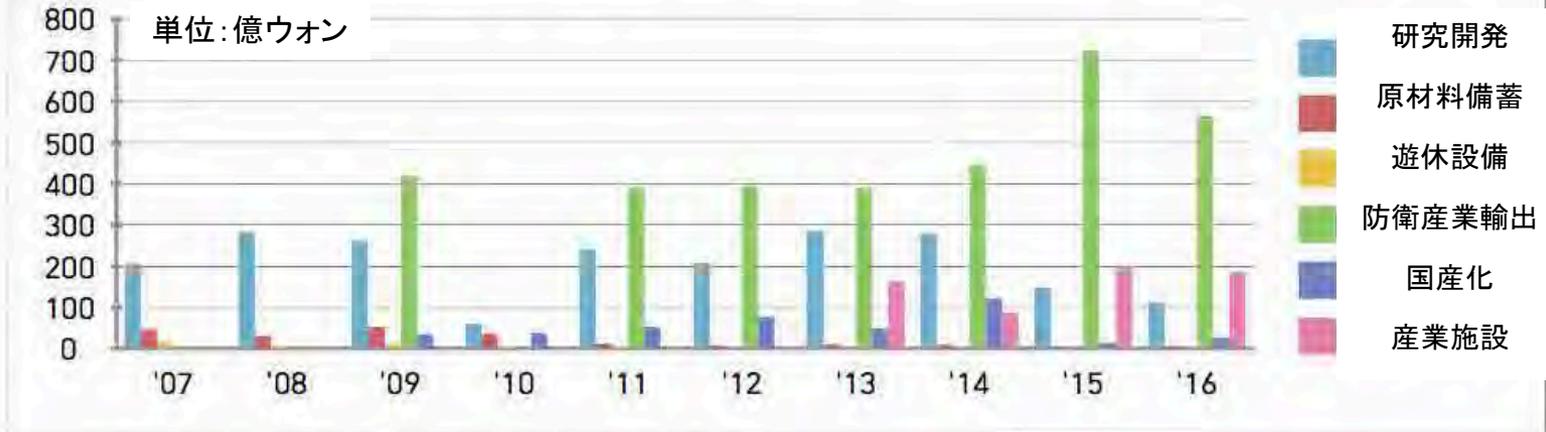
### ③契約

契約締結→輸出許可→納品→軍需支援後続処置

契約締結関連購入国要求事項支援

# 躍進の背景 輸出支援資金融資

## 防衛産業育成資金分野別資金融資現況



[표 5-1-5] 방산육성자금 분야별 자금용자 현황

(단위 : 억원)

구분	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16 <sup>1)</sup>	누계
연구개발	205	283	261	60	239	208	286	278	147	113	2,080
원자재비축	46	30	53	36	12	8	9	10	-	5	209
유헴설비	16	8	12	4	3	1	-	-	-	-	44
防衛産業輸出	-	-	418	-	391	395	390	445	724	565	3,328
국산화	-	-	33	37	53	77	48	121	14	26	409
방산시설	-	-	-	-	-	-	163	87	199	187	636
<b>합계</b>	<b>267</b>	<b>321</b>	<b>777</b>	<b>137</b>	<b>698</b>	<b>689</b>	<b>896</b>	<b>941</b>	<b>1,084</b>	<b>896</b>	<b>6,706</b>

주 1) 2016년도는 응자 추천 금액 기준임('17.6월 완료 예정)

韓国防衛事業庁『2017年度防衛事業統計年報』、211頁

# 躍進の背景 国防外交の活用

## ◆韓国にとっての国防外交

- かつては軍事外交と定義
- 2000年前後から活発化した海外派兵の機会を活用

### ①イラク派兵（2003年～08年）

- 約3000人規模の部隊派遣
- 派遣先での韓国軍のイメージが向上



イラク派兵部隊を激励する  
盧武鉉大統領  
(2004年12月8日)



T-50練習機  
イラクとの契約締結式  
(2013年12月12日)

### ②フィリピン台風被害支援(2013年)

- 災害支援部隊を派遣
- 朝鮮戦争参戦への返礼行事開催



被害を受けた子供たちを空軍  
輸送機に運び込む兵士  
(2013年11月)



FA-50軽攻撃機  
フィリピンとの契約締結式  
(2014年3月28日)

(写真出典: 朝鮮日報・国防日報・聯合ニュース・KAI)

# 韓国歴代政権の国防政策と防衛産業振興策

## 国防政策

健軍期(1945年～50年6月)  
6・25戦争期(1950年6月～53年7月)  
軍事制度装備期  
(1953年7月～69年12月)

自主国防推進期  
(1970年1月～80年12月)

国防体制発展期  
(1981年1月～88年2月)

民主国防具現期  
(1988年2月～2001年)



1～3代 李承晩  
(1948～60年)



5代～9代 朴正熙  
(1963～79年)



11代～12代 全斗煥  
(1980～88年)



13代 盧泰愚  
(1988～93年)



14代 金泳三  
(1993～98年)



15代 金大中  
(1998～2003年)

チャ・ヨング、ファン・ビョンム編著(2004)による分類

(写真出典:大統領記録館HP)

## 防衛産業

1970年代:  
第1次栗谷事業と基本兵器  
国産化推進

1980年代:  
精密兵器の挑戦と防衛産業  
安定化

1990年代:  
精密兵器の完成と防衛産業  
内実化

2000年代:  
先端武器中心の防衛産業  
新経済成長動力化

チェ・ソンビンなど(2010)による分類

# 韓国歴代政府の防衛産業政策目標



第1次栗谷事業(防衛産業の基盤創出と基本武器生産の国産化)



第2次栗谷事業(精密武器体系を発展させることができる防衛産業基盤構築)



第3次栗谷事業(武器体系の国内生産、土着開発)



戦力装備事業(新型武器体系の国内研究開発)



防衛力改善事業(新型武器体系の国内研究開発)



戦力投資事業(自主国防のための防衛事業国内研究開発能力構築)



防衛事業(防衛産業の新経済成長動力化)



防衛事業(創造形R&D推進・防衛産業活性化)



「朴大統領指示後1ヶ月で小銃、迫撃砲を作る」(1972年4月3日)



「盧武鉉大統領国防科学研究所訪問」(2005年6月30日)



「李明博大統領国防科学研究所訪問」(2012年4月19日)

# 輸出額推移と歴代政権 2006年～16年

億ドル



- ① 盧武鉉政権で種をまいた政策が保守政権で花開く
- ② 李明博大統領のリーダーシップとトップセールスの効果
- ③ 朴槿恵大統領の親子2代にわたる重点政策

# 相次ぐ不祥事 装備品の欠陥



大型揚陸艦「独島」  
性能欠陥・火災発生など



救難艦「統営」  
性能評価不正  
(2014年)



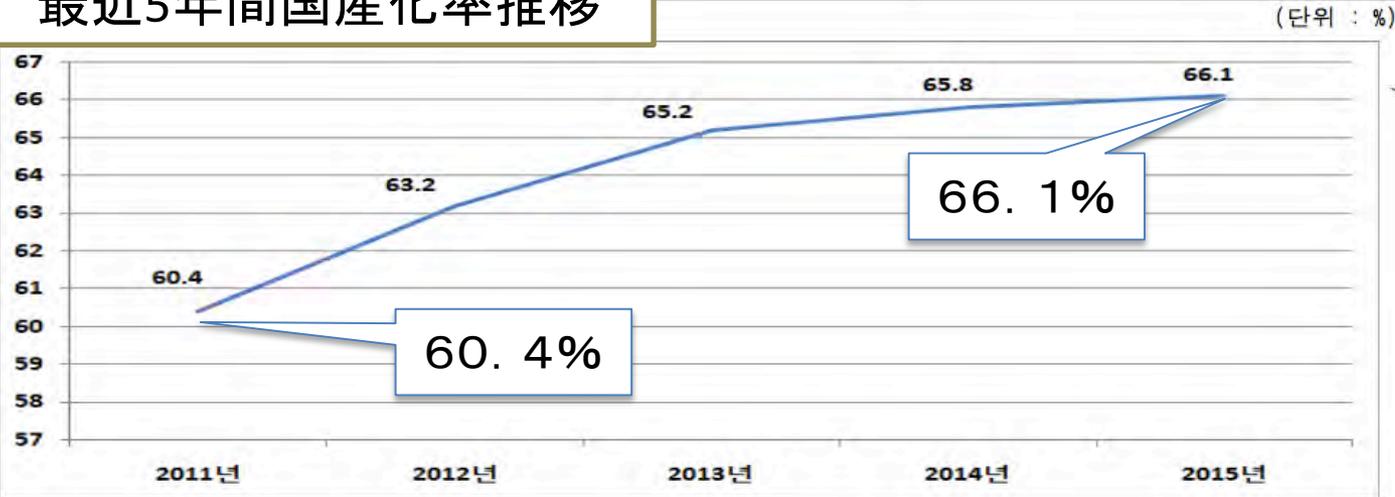
機動ヘリコプター「スリオン」  
各種欠陥ありとの監査結果  
(2017年7月16日)



K-9自走砲  
爆発死傷事故  
(2017年8月18日)

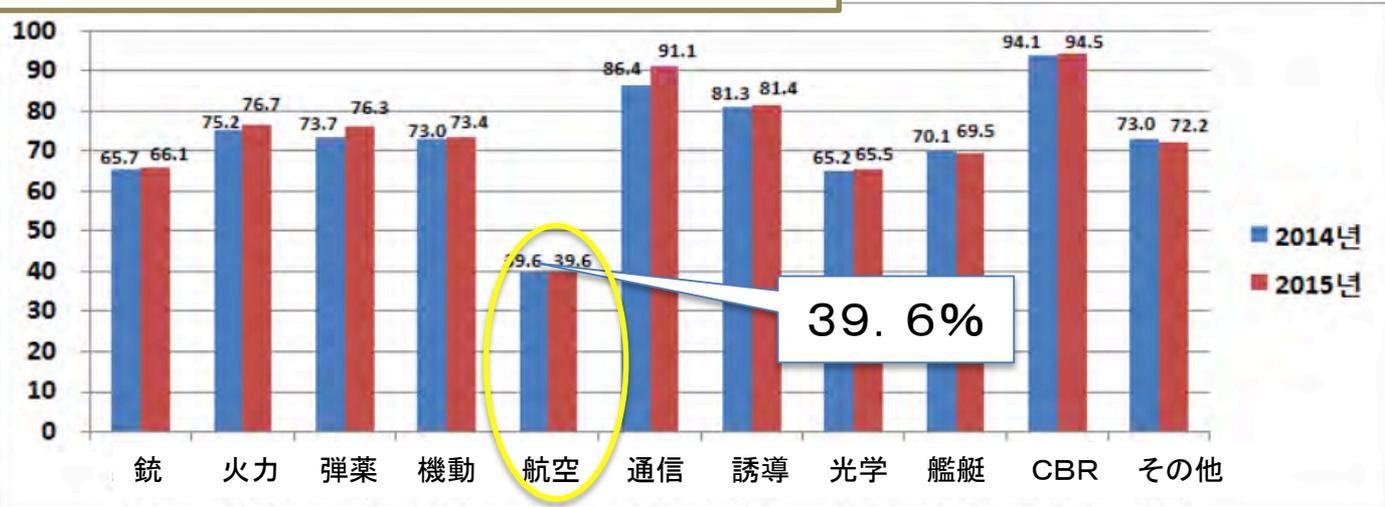
# 韓国防衛産業 今後の課題

## 最近5年間国産化率推移



KF-X次期国産戦闘機

## 前年比国産化率現況(14年/15年)



開発中のKF-X用AESA

# 韓国防衛産業 今後の課題

## ①防衛産業不正と改革の行方

- ・不正改革と振興政策推進は両立するか？

## ②さらなる技術革新と独自技術の保護

- ・外国とのオフセット契約中断？
- ・米国からの技術移転はどうなるのか？
- ・防衛産業保護法

## ③次の飛躍となる装備品は何か

- ・売れ続けなければならない宿命
- ・他国との協力関係構築